

令和6年4月から、不登校対応校内分教室を東愛宕中学校に設置します!!
その名も…

チャレンジクラス  「あたご **Space**」  スペース



東愛宕中学校の校舎

【名称の由来】

「あたご**Space**」という名称には、校内別室が生徒にとっての「居場所(Space)」となり、また、この別室には「宇宙(Space)のような大きな可能性がある」という2つの願いを込めています。



多摩市ユネスコ
スクールイメージ
キャラクター
「ゴーヤン」

📎チャレンジクラス設置の目的

不登校生徒が安心して学校生活を送ることができるようなゆとりある生活時程を実現し、実態に応じた支援を行います。

📎支援のキーワード

整える

📎登校日数の増加

ゆとりある生活時程の中で「リフレッシュタイム」などを取り入れ、生活リズムや心身の状況を整え、在籍前の年度より登校日数を増やしていきます。

分かる

📎学習内容の定着

一人一人の学習状況に合わせた個別学習やグループ別学習など指導方法や指導体制の工夫改善に努め、学習内容を確実に身に付けることができますようにします。

つながる

📎学校内外の機関等による相談・指導等を受けていない生徒の解消

個別支援計画を活用し、関係機関と連携を図り「学校内外の機関等による相談・指導等を受けていない生徒数」を0にしていきます。

指導方針①

ゆとりある生活時程と学び直しの可能な1単位時間の授業構成

📎「ゆとりある生活時程」とは？

時間割例

通常学級	別室学級	生活時程	月	火	水	木	金
		～9:30					
1校時		9:30～9:35			登校		
		9:35～9:45			朝の学級活動		
2校時	1校時	9:50～10:40	学活	社会	道徳	英語	保体
3校時	2校時	10:50～11:40	国語	英語	理科	理科	数学
4校時	3校時	11:50～12:40	技術/家庭	数学	保体	国語	社会
		12:50～13:10			給食		
		13:10～13:30			昼休み		
5校時	4校時	13:35～14:25	総合	音楽		美術	総合
		14:30～14:40			清掃		
6校時		14:40～14:50			帰りの学級活動		
		15:00			下校		

◆通常学級では、1日6時間が基本ですが、チャレンジクラスでは、1日4時間のゆとりある生活時程で、東愛宕中学校の年間指導計画に基づいて学習を進めます。朝は、心身の調子を整える「リフレッシュタイム」で、軽運動やソーシャルスキルトレーニングを行います。また、通常学級は週29コマが基本ですが、別室学級は週19コマで学習を進めます。

📎「学び直しの可能な1単位時間」とは？

1単位時間の展開例

	内容
前半 20分	【個別(学び直し)の時間】 ◇後半で学ぶ内容について、個別で追究したり、学び直したりして、補充の学習をします。 ※ICTを積極的に活用した個の学び
後半 30分	【協働(学び合い)の時間】 ◇前半で学んだ内容を活用して、他の生徒と協働的に学んでいきます。 ※ICTを積極的に活用した協働・対話的な学び

◆通常学級では1単位時間50分の中で、学習を進めますが、チャレンジクラスでは前半20分を【個別(学び直し)の時間】として、個別の課題に基づいた補充の学習を行い、後半30分は【協働(学び合い)の時間】として、前半で学んだ内容を活用して、他の生徒と協働的に学んでいきます。

指導方針②

体験的な学習とICTを効果的に活用した学習活動の工夫

📎「体験的な学習」とは？



美術、音楽、技術・家庭等での体験活動の充実

◆生徒の学習への意欲を喚起できるよう、体験的な活動を多く取り入れていきます。例えば、音楽での鑑賞活動や、美術の創作活動ではゲストティーチャーを招いた授業、技術分野ではプログラミング、家庭分野では調理実習などを行っていきます。
◆総合的な学習の時間や部活動では、生徒の希望に応じて通常学級と交流も可能です。

📎ICTを効果的に活用した学習活動の工夫とは？



オンラインでの授業参加

◆登校が難しい場合は、オンライン会議システムを活用して、授業に参加することができます。
◆オンライン会議システムで双方向のやり取りが難しい場合は、メッセージのやり取りで学習に参加することも可能です。



スペース

Space

チャレンジクラス「**あたご** Space」の支援や入級方法は？

指導方針③

個別最適な学びや協働的な学びの一体的な充実を図り、「学びの選択」ができる教室レイアウト

パーソナルラーニングスペース



リフレッシュスペース

学びたい方法を選択できる

心身の状況に応じて選択できる

コラボレーションスペース

■場の選択、学び方の選択を可能としています。

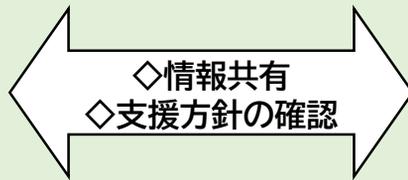
- ◆「パーソナルラーニングスペース（個別学習スペース）」を確保し、タブレット端末や書籍等を準備してすぐにでも学び直しや調べ学習ができるようにします。
- ◆「コラボレーションスペース」では、円卓のように机を並べ、協働的に学ぶことができるようにします。
- ◆「リフレッシュスペース」では気持ちのコントロールや、クールダウンを行うことができるようにします。

指導方針④

個別支援計画を基にしたアセスメントと生徒・保護者との定期的な面談



個別支援計画を基にした支援会議



定期的な面談

- ◆学校は「個別支援計画」を作成し、その計画を基に支援方針を立てていきます。「個別支援計画」を活用し、生徒や保護者と定期的に面談を行い、生徒の学びを支援していきます。

入級までの流れ

①保護者は在籍校長に入級希望を伝え、面談する。



②保護者は在籍校に申請書を提出し、在籍校長は市教育委員会に送付し、報告する。



③市教育委員会は、入級希望があったことを設置校に連絡する。



④設置校は、保護者と日程を調整し、生徒及び保護者が教員を配置する校内別室学級を見学する。

体験入級は、1日1時間以上参加し、2週間程度実施する（連続する必要はない）。



⑧設置校以外に在籍している生徒については、在籍校及び設置校が通常どおりの転出入の処理を行う。



⑦市教育委員会は、入級審査会を開催し校内別室学級入級許可決定通知書を保護者に送付する。



⑥体験1週間程度の時点で三者面談し、入級の意向確認をする。



⑤生徒は、**2週間程度**の体験入級を行う。

※入級が決まったら、東愛宕中学校の在籍になります。



スペース



チャレンジクラス「あたご Space」の Q&A

Q.対象となるのはどのような生徒ですか？

A.年間 30 日以上欠席し、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいは、したくてもできない状況にある生徒や断続的な不登校又は不登校の傾向が見られる生徒が対象です。

Q.入級審査の条件はどんなものですか？

A.以下の内容が条件となります。

○体験期間中、オンライン対応も含めおおよそ6割以上参加していること。ここでいう「参加」とは、1日のうち1時間でも参加できた場合。

○生徒、保護者ともに教員を配置するチャレンジクラスに入級することを同意していること。

○生徒が通学に対して意欲的であり、学習に取り組むことができること。

○原則、自力で通学が可能なこと。

最終的には、上記の条件を満たし、入級審査会で許可されたら正式入級となります。

Q.制服はどうなりますか？

A.服装は自由です。以前の在籍校の標準服を着てもいいですし、私服でも構いません。また、東愛宕中学校の標準服を購入しても構いません。

Q.設置校の通常学級の授業、部活動、学校行事に出ることは可能ですか？

A.希望すれば可能です。ただし、設置校（東愛宕中学校）校長の許可が必要ですので、チャレンジクラスの教員と相談しながら進める必要があります。

Q.元の在籍校に戻ることは可能ですか？

A.可能です。その際は、保護者が設置校（東愛宕中学校）の校長に申し出て面談を行い、退級届を提出し、退級審査会で認められた場合は、在籍校に戻ることができます。また、在籍校に戻る転出入の手続きを行います。

多摩市教育委員会から



多摩市教育委員会
教育長 千葉 正法

近年、本市のみならず、全国的に不登校児童・生徒数は増加傾向にあります。多摩市教育委員会では令和2年4月に「不登校総合対策～一人ひとりの子どもたちに安心できる学校生活を～」を策定し、市内公立小中学校の支援の方針を示しています。不登校の要因は多様であり、とりわけ、「無気力・不安」「学業不振」が主な要因となっています。本学級は、そのような不登校の要因を踏まえ「整える」「分かる」「つながる」を支援のキーワードに不登校生徒を支えてまいります。

【設置校所在地（東愛宕中学校）】

〒206-0041 【HP】

多摩市愛宕1-52 <https://schit.net/tama/jhigashiatago/>

☎042-374-9781



【HP二次元コード】